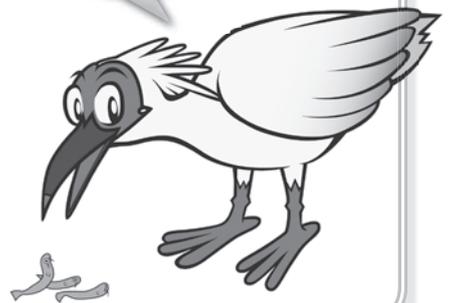


となりの

# ミニトツキ

トキのくちばしとヒナ

第19回



トキの体の特徴の一つに、長くて下向きに曲がったくちばしがあります。くちばしの色は黒く、先端は赤色をしています。

鳥のくちばしは、何を食るか等によっていろいろな形をしています。トキが食べるのはドジョウ、ミミズ、カエル、昆虫などです。例えば田んぼでドジョウを捕まえるとき、トキはくちばしを泥の中に入れてドジョウを探し回り、くちばしに触れる感覚でエサを捕まえます。目で見てエサを捕えるサギに比べ、トキはくちばしの感覚が発達しているといわれています。

また、トキの雌雄は見た目では分かりません。オスの体はメスに比べやや大きく、くちばし

もオスが18センチ程度、メスが16センチ程度とオスの方がやや長いので、体重を測るか、くちばしの長さを測ると雌雄の見当が付きます。

親鳥がヒナにエサを与える時には、ヒナが親鳥の長いくちばしの中に顔を突っ込んで、親鳥が消化したエサをもらいます。その姿は親鳥がヒナを食べてしまっているかのようにも見えます。

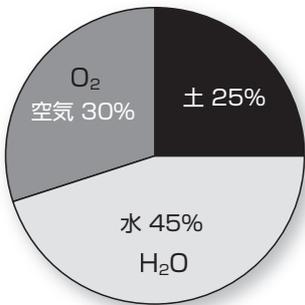
今回は、放鳥トキの状況について紹介します。

おたすね

出雲市トキ分散飼育センター

☎201350

## 理想的な土壌の三相分布



豊かな土壌(表層30cm位までの深さ)は通気性(30%)透水性(45%)が決め手

樹木のドクター

Vol.12



## 樹医からのアドバイス

### 元気な木が育つ土壌環境

木を健康に育てるためには豊かな土壌環境が必要です。今回は、木が健康に育つ、理想的な土壌環境について説明します。

#### 【理想の土壌環境】

「ふかふかでよい土」

このフレーズ一度は耳にしたことがあるのではないのでしょうか。木が健康に育つよい土はふかふかです。この土には、水と空気、そして窒素やミネラルなどが適度に含まれています。また、それぞれの割合としては、土・水・空気(三相分布)＝25%・45%・30%であることが理想的であるといわれています。

#### 【ミミズが土を育てる】

木がよく育つ森林の土には腐植があります。腐植とは、落葉や落枝がミミズなどの土壌生物や微生物によって分解されてできる有機物のことです。腐植は土の栄養面、保水力などにより影響を与えます。また、ミミズなどが土中を動き回ることと、土に空気を与え、適度に土が混ざり、ふかふかでよい土壌環境となります。

#### 【よい土づくりをしましょう】

ご家庭の樹木を育てるうえで、水やりや肥料によって、よい土づくりを実践されている方もたくさんいらっしゃると思います。いつもの土づくりに加えて、落葉、落枝をすぐに片づけるのではなく、そのまま置いておき、腐植のサイクル(腐葉土)を作ってみるのもよいでしょう。

(出雲市樹医 勝部治良)

おたすね / 出雲市樹医センター ☎206497

## 出雲弥生の森博物館情報

企画展

開催中～12月21日(月)

### 「いつまでも戦後でありたいー出雲市民と戦争」

「戦後何年」という言い方がずっと続いて欲しい  
地域と戦争との関わりを考える展示です。

関連講演会 11月22日(日) 14:00～16:00

### 「戦争遺跡・遺物から見えるもの」

講師：原田 敬一氏 (佛教大学歴史学部 教授)

※事前に電話・FAXでお申込みください。定員：80名

ギャラリー展

開催中～平成28年2月1日(月)

### 「発掘された戦争遺跡ー地下の遺構やモノが語る戦争ー」

館長講座 発掘調査のお宝動画公開！

### 「造山古墳」(安来市)～学研賞に輝く島大生の8ミリ映画～

11月14日(土) 14:00～16:00

◆講師：渡邊貞幸(当館館長) ◆受講料：300円

※事前に電話・FAX・博物館ホームページでお申込みください。

## 第50回 出雲市無形文化財発表会

無形民俗文化財に指定されている神楽や獅子舞等、各地に色濃く残る伝統芸能が一堂に会します。50回目の節目を迎える舞台上で華々しく共演。神話のふるさと「出雲」に息づく技と心をご体感ください。



と き：11月29日(日)

開場9:30/開演10:00～16:00

ところ：大社文化プレイスうらら館

■入場料：前売400円(当日500円)

中学生以下無料

プレイガイド

出雲弥生の森博物館、市役所本庁売店(ふたばショップ)、大社うらら館ほか



出雲弥生の森博物館

開館時間 9時～17時(入館は16時30分まで)  
休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌平日)

〒693-0011 出雲市大津町2760

☎25-1841 FAX 21-6617

http://www.city.izumo.shimane.jp/yayoinomori



よすみちゃん

## 荒神谷博物館情報

企画展

### 『三田谷I遺跡の縄文から奈良時代』

### ～斐伊川放水路から見た古代生活～

11月14日(土)～平成28年2月29日(月)

平成6年から5年間にわたって斐伊川放水路建設に伴い発掘調査された三田谷I遺跡(上塩治町)からは縄文時代から奈良時代にかけて長い時間を刻む遺物が出土しています。

出雲ではじめての出土となる土偶や、「矢野(八野)」や「高岸」など『出雲風土記』に記載されている地名を記した木簡からは、当時の祭祀の場や役所施設などさまざまな顔がうかがえます。

三田谷I遺跡を中心に上塩冶地区にいた私たちの先祖の生活に迫ります。



ミュージアムショップ通信

### 『土器仕様コップ』

弥生時代の土器の雰囲気を再現したコップです。

高さ6～9cmまでさまざまなサイズがあり、お茶やコーヒー、ぜんざいやスープなどを入れて飲むことができます。



ホール展示

### 模型の会「轍(わだち)』プラモデル作品展

11月8日(日)～29日(日)

9:00～16:30

戦車やロボット、車など精巧な技で作り上げた珠玉の逸品を展示します。



### ■ 定例講演会 第123回

11月14日(土) 13:30～15:00

演題：『古代出雲の祭祀世界』

講師：松尾充晶氏(島根県立古代出雲歴史博物館)

資料代：300円 申込不要

### ■ ゼミ形式 「風土記談義」

～肥前国風土記編～

11月15日(日) 10:00～12:00

講師：平野芳英・杉岡直子・藤岡大拙

受講料：300円 申込不要

最新情報は  
ホームページ内の  
ブログや  
フェイスブックを  
ご覧ください♪

荒神谷博物館

Archaeological Museum of Kojindani

〒699-0503 出雲市斐川町神庭873-8

☎72-9044 FAX 72-7695

http://www.kojindani.jp

